



成人式を祝して (太鼓集団 雅組)

## 12月定例会の概要

平成25年12月定例会は、12月3日に開会し、18日間の会期で20日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告2件、予算案11件、条例案5件、その他11件、計29件、請願4件、その他2件、合計35件が上程されました。

その内、請願3件は不採択、1件は趣旨採択、その他の案件については原案のとおり可決等されました。

また、継続審査となっていた24年度決算3件は、認定されました。

## [12月定例会日程]

会議日	会議別	会議内容
3日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
9日(月)	本会議	一般質問(6名)
11日(水)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
12日(木)	委員会	民生文教委員会
13日(金)	委員会	産業建設委員会
20日(金)	本会議	委員長報告 討論、採決

次回定例会は3月に開催の予定です。

# 市政をただす 一般質問



今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をただしました。質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者			
No	質問者	No	質問者
1	遠藤素子	4	竹内秀明
2	河野裕保	5	西山一規
3	新宮康史	6	佐々木加代子

## 会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページでもご覧になれます。



遠藤素子議員

### 質問事項

- 6 原発事故を想定した避難計画について
- 5 林業の振興について
- 4 カルチャーアイランド21「おさかな牧場」について
- 3 同和対策予算について
- 2 小規模みかんジュース工場の創設について
- 1 温浴施設の設置計画について

### 原発事故を想定した避難計画について

福島原発事故から千日。事故は収束するどころか原因も解明されず、放射能汚染水が流出し続けている。今なすべきことは、原発再稼働の準備ではなく、事故の後始末と避難生活をしている人たちの平穏な生活を取り戻すために、国民の総力を挙げて取り組むことだ。

**問** 伊方で原発事故が起こった場合、最も大切なことは、その情報を正確・迅速に市民に知らせることだと思いが、その方策はたっているか。また、市民がいつでも風向きを確認できるように市役所や学校などの高い建物に吹き流しを立ててはどうか。

**答** 放射能の影響は放出量など多面的に検討すべきで、風向きの確認ではなく、スビーディ・データの公表が大切と考える。

この他に、秘密保護法の制定で、事故の情報に秘密にされないか。「ヨウ素剤」は、事前に配っておく必要があること。市民が自家用車で松山に避難する計画になっているが、実際には不可能ではないかななどの問題について質問した。

### カルチャーアイランド21、おさかな牧場について

**問** 18億円かけて造られた「おさかな牧場」には、市から毎年1400万円の委託料が支払われ、10万円の赤字だという決算

報告を受けてきたが、この支出を削減する方向に、思い切った舵をきるべきではないか。

### 同和対策予算について

過去の歴史の中で、特定の地域の人たちが長期にわたり不当な差別を受け、苦難を強いられたことについて、そのような差別を心から憎む。差別はなくさねばならない。

**問** これまでの取組みによって生活環境は改善され、差別は少なくなり、国は2002年に同和対策についての終えんを宣言した。以後は、一般施策の中で他の市民と同じように扱うこととされたが当市では、今なお1億円近い予算が組まれ、特別扱いがなされているのではないか。

**答** 一定の改善が見られたのは事実だが、差別の根絶に向けて人権問題に取組んで行くための予算であり、今後必要な取り組みを進めていく。

他に、林業振興策、みかんジュース工場の創設などを求めた。また、温浴施設ができるまでの間、お風呂のない方々のために、公民館などに簡易な風呂場をつくり、順番に使えるようにするなど、何らかの配慮を求めた。



河野裕保議員

質問事項

- 1 大城市長の1年間における公務について
- 2 平成26年度当初予算(案)編成方針について

**問** 市長の平成25年4月から11月までの間の公務の内、次の7項目について参加・出席回数をお伺いする。

地域住民・団体等の対応、市内外からの表敬訪問、全市的なイベント及び地域のイベント各種団体の総会等を含む、各種審議会・委員会、市議会出席回数、国・県等への陳情及び隣接自治体との対応並びに市長会、その他、以上お尋ねする。

**答** 地域住民等の対応に43回、市内外からの表敬訪問は116回、全市的なイベント等は200回、各種審議会等は100回、市議会出席回数は12回、国・県への陳情等は23回、その他は94回で計588回。土日昼夜を問わず公務をこなしている。

**問** 大城市政の安全・安心なまちづくり、行財政改革、産業の振興による3本の矢を放たれており、曙光が射し希望の持てる八幡浜市を期待している。そこで、平成26年度当初予算(案)編成方針について伺いたい。

**答** 26年度当初予算は、完全年間予算として立てる。法人税は若干増加が見込まれるものの、地方交付税も減額されることから今以上に事業の選択が迫られる。限られた財源の中、事業をゼロベースで見直していきたい。

**問** 公共下水道事業は、新規事業を含め改築・更新、維持管理費が高み繰入金他、市の財政を圧迫しつつある。使用料収入の増加策と併せて伺いたい。

**答** 公共下水道事業への一般会計繰入金増加の原因は、過去の借入金の償還が主である。24年度は予算24億円のうち13億円が公債費の元利償還金だ。繰入金の削減には、収入の増加と支出の抑制が必要だ。料金収入を増やすため、未接続者への接続を啓発し、併せて支出抑制に努力していく。

**問** 臨港道路の南側の旧冷蔵・冷凍施設関連用地2千平方メートルと漁協用地及び民有地を含めた天神通りまでの約100メートル間を再開発する。話題に上がっている温浴施設も漁協関連施設として整備し魚市場関係者の利便に供し同時に市民ももらい湯でリフレッシュする。また、日本一寿司ねたが豊富で安く旨くて旬のにぎり寿司を提供し全国発信する。さかなのまちの強みを生かしたまちづくりについて伺いたい。

**答** どのような施設が可能なか実現に向けて必要な調査・研究を行いたい。旧冷蔵・冷凍施設跡地については、水産関連事業者の使用が可能か漁協と協議し進めて参りたい。



新宮康史議員

質問事項

- 1 医療体制の確立について
- 2 教育関係に関する件について
- 3 市・政策全般について

医療体制の確立について

**問** 救急医療体制の確保について、今年4月市立病院の受け入れ問題発生を契機に、市民は一日も早い土曜日の受け入れ制限解除を望んでいる。そんな中、広瀬病院が2次救急輪番体制に週1回加わるという話が出ているが、現環境条件下での考えを伺う。

**答** 広瀬病院の救急病院開設は市にとっても大きな援助になる。20床増床は今後国の承認を得て決定される。市立病院の制限解除は、広瀬病院の救急医療受け入れが可能となった段階で、状況を踏まえ検討する。

**問** 大島診療所の医師確保について、島民は現在の医師が退任された場合、後任の医師が決まっておらず不安を持っている、例えば北九州市が行っている離島とのテレビ電話での遠隔診療や2名による交代勤務等新しいシステム作りが必要と思われるが、市はどのように考えているのか。

**答** 現医師が75歳を迎え退任の意思を表明され、募集に努めてきたが適切な後任は決まっていなかった。島民の強い要望を受け、来年度の継続勤務を快諾して頂いた。今後の医療体制確立に向け常勤医師の確保、医師派遣による隔日診療、また提案の遠隔診療も情報収集し検討していく。

教育関係に関する件について

**問** 土曜授業再開について、週5日制が開

始されてから11年、現在の学力が低下したことを受け、来年度から復活の見込みもなっているが、市はこの間の評価、検証をしているのか。再開にあたっては各教育委員会にその判断を任せられているがどのように取り組むつもりなのか。

**答** 当市での週5日制、評価は高い、学校・家庭・地域での強力な連携のもと地域行事参加を中心とした生きた教育実践がなされてきた。

土曜授業の必要性調査では18校が不要、3校がどちらともいえないという結果で必要と感じていないのが現状、文科省の検討チームのまとめ等を踏まえながら、保護者地域の意見、学校現場の考えを参考に検討したい。

市・政策全般について

**問** 市政懇談会での意見に対するフォローについて、市民の間から、自分で前もって考え、昨年も今年も質問したが、その返答は何も帰ってこない、ただ単にパフォーマンスなら次からはもう出席しないという意見があるが市はどのように対応しているのか。

**答** 回答は、市のホームページで公開しているが、合わせて、本年度から各地区公民館にも送付し、市民に広く直に知らせるよう配慮した。



竹内秀明議員

質問事項

- 1 技術者の雇用とすぐやる土木に関して
- 2 新しい公共交通のあり方について
- 3 明るい八幡浜市・市役所のあり方
- 4 八西CATVの加入状況

**問** 今後の技術者の雇用と適正な配置の方向性、また、すぐやる土木費の予算増とすぐやる係の設置検討について伺う。

**答** 今後の採用は、新規の大事業がない限り、退職者の欠員補充という形になり、今年度末の退職者から再任用制度が導入されるので、次年度以降の定員適正化計画を定めたい。職員配置は業務量、職員の年齢構成等のバランスを考慮し配置を行っている。すぐやる土木費は、市民の安全・安心を守る予算として大きく寄与しており、補助も起債もない恒常的な経費で財政的には大変厳しいが、来年度は増額を考えている。すぐやる土木業務は経験のある技術者が必要であり、係の新設、現在の業務内容等を十分精査の上、必要性を検討したい。

**問** 公共交通がない地域の交通手段として、実証実験運行に取り組んでいる双岩地区のタクシーを利用したデマンド型タクシー、予約制乗合タクシーの利用状況を知りたい。日土町では全国での例のないNPO法人を立ち上げ、過疎地有償運送事業に取り組んでいる。市民の交通弱者が少しでもなくなる、そんな新しい公共交通のあり方を伺う。

**答** 乗合タクシーの11月の運行率39%。1便当たり平均乗車人数は2・4人で効率的な利用に協力頂いている。日土地区のように

地域自らが運営主体となる取り組みが最も望ましい形。市も同様の取り組みが他地域で実現できるよう必要な支援を行いたい。今回の乗合タクシーの実証実験運行の検証結果を踏まえ、地域で持続可能な公共交通の最適な組み合わせを模索していきたい。

**問** 八幡浜庁舎玄関脇に新たに総合案内所を設置する事で市民目線での優しい市政運営が出来るのではないかと。市民のための庁舎管理をするべきと思うがいかがか。

**答** 現在は市民課に総合案内の看板を掲げて案内サービスを行うが、専任職員の配置はなく、市民課の複数職員が兼務して案内している。当市も最近新たに設置を検討したが、実現に至らなかった。市民目線での優しい市政運営としてはとの件だが、必要であると考えており、総合案内所の設置を前向きに据えたい。

**問** 大島地区では八西CATVは、光ケーブルで視聴できないが、今一度前向きに検討をお願いしたい。

**答** 大島地区へいかに光を送るかについて考えたが、億単位の工事となることに加え、年間数百万円の保守費用も必要となる。八西CATVは市においても重要な情報発信源と認識しているが、大島地区エリア拡張は経費面から難しい。



西山一規議員

質問事項

- 1 八幡浜市の情報発信について

**問** 八幡浜市のホームページは、市外の人への情報が不足していると感じ、直近の催しが全くわからず、八幡浜市に来たくなくなる新鮮情報が見つからない。世界中から見る事ができるホームページを、人を呼ぶために活用することはとても重要。ホームページの情報発信について、八幡浜市はどのように取り組むのか。

**答** 市ホームページは、平成10年度より公開・運用、平成22年11月リニューアルし、県内上位の評価を受けるほど改善をされた。指摘については、目的情報にいち早くたどり着けるよう、さらに工夫、改善したい。情報更新については、より迅速に最新の情報、話題を取り込めるよう、各課の連携を図りながら情報発信の充実強化をさらに進めるよう努めたい。

**問** 気づいた3点を指摘する。終わったイベントが「開催中」のまま表示。観光情報のページ内に情報が揃わず点在していたり、表示とタイトルが違って、ちぐはぐな印象。PDF形式の文書の一部が内容検索できない状態で、インターネット検索サイトから目的文書にたどり着けず、とても勿体無い。この3点の中で、対応予定があればお聞きしたい。

**答** 市外の方々に対して、より親切で見やすい工夫を考えている。行事カレンダー追加を考えており、リンク集は随時追加、配

置を変えていく。PDF内容検索は、業者と検討を重ねて高額とのことだったが、最近安値段階で検索可能なシステムもあり検討したい。

**問** イベントカレンダーは、宇和島市、西予市にはある。そして、みなつにもあり、そこにリンクするだけでも大きな改善になるので、精いっぱい取り組んでいただきたい。

**答** もう一点は観光パンフレットについて。インターネットが普及しても、まだまだ紙媒体の役目は重要。「八幡浜みなつ」と「内、みなと交流館へ行くと、さまざまなパンフレットが置かれている。みなつと周辺に足を運ぶきっかけとなり、パンフレットを持ち帰れば家族や知人の目に触れ、興味を持たれる。しかし市内のパンフレットがとてもし少ないと感じ、これでは市内へ人が流れるきっかけが少なくなってしまう。このような紙媒体の情報発信についてどのように取り組むのか。

**答** みなと交流館には市内さまざまなパンフレットやマップを10種類以上設置している。当施設は、四国の西の玄関口として、南予・県・国の観光情報、交流拠点としての官民数多くの情報を合わせて提供している。市内情報が目立ちにくいとの指摘かと思う。今後は効果的なレイアウトを早急に検討する。



議員 木加代子 佐々木

質問事項

- 1 防災行政無線について
- 2 がん検診について
- 3 小・中学校における来年度の熱中症対策について
- 4 「こころの体温計」の導入について

防災行政無線について

**問** 防災行政無線の野外スピーカーの音が聞きとりにくいという声に対し、災害時に限定するだけでなく、さまざまなお知らせにも対応できる防災行政無線音声自動応答スピーカーの導入について伺う。

**答** 防災行政無線は、災害発生時または災害が発生するおそれのあるときなどに市民の皆様へ迅速かつ確実に情報伝達する大切な役割を担っていると認識している。屋外スピーカーの設置が多い旧八幡浜市内においては、市政懇談会の高齢の皆様から聞きづらいとの意見も多数承っており、その都度放送設備の増設や修理等の対応はしてきた。災害の状況によっては、さまざまな問題点があることも承知している。市としても、その問題点を解消すべく、戸別無線受信機、防災ラジオや音声自動応答スピーカー等、よりよい伝達手段を検討中である。音声自動応答スピーカーの導入が、費用面や早急な対応を考えれば、防災行政無線の機能を補うことができる有効な方法と思われる導入を前向きに検討したい。

がん検診について

**問** 日本人の死因のトップはがんであり2人に1人はがんになるといわれている中で、厚労省は平成21年度より行ってきたがん検診の無料クーポン事業を、来年度から

縮小する方針だが、市として無料クーポン事業を継続することはできないか。また、未受診者への個別受診勧奨「コール・リコール」の取り組みと血液検査による胃がんリスク検査「ピロリ菌検査」の導入について伺う。

**答** 八幡浜市において、平成26年度以降の事業の対象者とならない方への無料クーポン事業の継続実施は考えていない。ただし、平成22年度より実施している全てのがん検診について、自己負担を定額の500円としたワンコイン検診や、特定の方への無料検診は継続していく。節目年齢の方への個人通知は検討したい。胃がんリスク検査については、今のところあくまでも胃がんの発生頻度を判定するもので、その結果の解釈が難しく不意な安心や反対に不安を与える危険がある。今後の検査導入時期については詳しい情報を収集し、当面慎重に検討していきたい。

熱中症対策について

**問** 熱中症対策の1つとして、安価で簡単に設置できるミストシャワーを全小・中学校へ設置を要望したいがどうか。

**答** いくつかの学校で要望があったが平成27年度に検討したい。県内では大洲市を含め6市で簡易式シャワーを設置している。まずは学校関係者と協議したい。

決算審査特別委員会報告

樋田 都 委員長

平成24年度一般会計及び特別会計の決算は、予算現額、357億2899万2500円。歳入決算額、341億6709万3612円。歳出決算額、335億2957万577円であり、決算額の形式収支は、6億3752万3555円の黒字である。これから翌年度へ繰り越すべき財源、1億5009万円を差し引いた実質収支は、4億8743万3555円の黒字である。

なお、歳入決算の執行率は95.6%、歳出決算については、93.8%である。

基金状況は、一般会計の基金として、財政調整基金25億547万7191円をはじめとした16基金、計56億3485万7221円。その他の基金として土地開発基金ほか4基金で、計6億2407万4019円となっている。

財政状況は、財政基盤の強弱を示す財政力指数が、3力年平均、0.345で県下11市中8位、依然として国・県に依存する財政体質である。

実質公債費比率は、11.7%で県下11市中5位、将来負担比率は、64.2%で県下11市中6位である。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、93.7%で県下11市中最下位であり、依然として標準的といわれる80%を上回っており、硬直化した財政構造が続いている。

**問** 職員の時間外勤務の状況と管理職の

指導はどうか。

**答** 年間360時間を超える職員は、33名、特定業務にあたり一生懸命やっている。時間外勤務の必要性を管理職はしっかり判断し対応している。

**問** みなと交流館の建築主体工事費、1億1078万円であり、坪単価100万円を超えている。設計についての市のチェックは誰が行っているのか。公共施設については、市内の業者でチェック機能を持つていただくことも必要では。

**答** 設計は、業者に外注し建設課の建築士が審査にあたっている。木材を多く使った仕様だったため建設単価が少し上がった。設計のチェック機能はどのような方向があるか庁内に持ち帰り相談してみたい。

**問** 修繕料10万円以下の簡単な工事と舗装の補修など現状を変えない工事は、周辺の地区において非常に役立つ事業である。「すぐやる土木」の予算を今後は多く組み対応していただきたい。

**答** 事業要望調査の結果、平成23年度609件、24年度500件、その内「すぐやる土木」で対応できたのは、105件である。原課の希望としても、もっと予算をつけて欲しいと考えている。

**問** 市民会館の老朽化に対し「ゆめみかん」へのイベント移行で、あり方を検討すべき時期に来ているのではないか。

**答** 確かに利用率が減っており、特に大ホールの使用は随分減っている。市民会館運営審議会に現状の把握と利用者へのアンケート等をとることも考慮していきたい。

## 総務委員会報告

樋田 都 委員長

### 八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

（理事者説明） 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正が公布されたこと及び市営住宅への入居募集について住民への啓発を図るため、所要の改正を行うものである。

**問** 現実、そうした事例があったのか。  
**答** そうした事例は聞いていない。

### 平成25年度八幡浜市一般会計補正予算委託料みなと交流館等指定管理料77万4000円について

**問** トイレ清掃業務等については、シルバー人材センターによる見積を参考にしたようだが、今は別の業者に変わっている。指定管理者決定後は、管理者の自由でよいという解釈でよいのか。

**答** 指定管理者が権能の中で決定した。より安く効率的に正確にできる業者を自らが見つけていただくことになる。

**問** 委託した市側としてきちんと掃除ができていないのか、確認はとれているのか。

**答** 直接、清掃点検をすることはないが、市民や議会からの指摘もあり、管理者から報告、情報交換にてより良いトイレの清掃・管理をお願いしている。清掃は平日1回以上。土、日、祝日等は2回以上という仕様書であったが、管理者が自主的に当初から平日も2回清掃をいただいている。見

回り点検も概ね4回以上、目視点検だけでなく管理者自らが便器清掃もしていただいている。

**問** 今回のトイレ清掃やトイレレットペーパー等の補正は、当初から仕様書になかったという事で、新たな追加仕様とする解釈で良いのか。

**答** 管理者と結ぶ基本協定の中で、合意した業務の内容を見直す場合、その検証も加え、お互いが協議に依拠すること。また、それに伴う指定管理料の変更も、その協議の中で決定しなければならぬことになっている。来年1月以降、清掃回数が増、トイレレットペーパーの積算が無かつたため変更が必要である。

**問** この事業は、市長の目玉とした政策でもあるが、何でも足りなければ追加するという姿勢はいかかなものか。他の指定管理者への前例となるのではないか。予算措置をして年度途中でトイレ掃除等についてこういう形で補正が出るのは初めてであり残念なことである。

**答** みなと交流館は施設が出来上がる当初から指定管理を導入する初めてのケースであり、他の施設は業務委託においてそれなりの実績があったものであり、今回のように本来加えておくべきものを加えていないということは当然起こり得ないものと考えている。

**意見** 観光地に数万人もの来場があればトイレは大騒動である。この補正の要因は職員のトイレに対しての概念と認識の甘さである。来場者に不快感を与えないことは大切であり、今回の補正処置は仕方がないと

## 民生文教委員会報告

石崎 久次 委員長

### 「市立病院の決算審査について」

医師、看護師数の減少により、医業収益が4・8%の減。医業外収益も12・8%の減となった。また支出である病院事業費用は5・5%の増。その内訳として、給与費が5・8%の増。うち退職給与金が898・3%の増となってしまう。この結果、収支差引ぎでは、8589万1386円の単年度赤字となり、前年度までの繰越欠損金と合わせて、平成25年度に繰り越す額は9億62万2729円となっている。

**問** 退職者が大幅に出るのではないかと  
**答** 退職者が大幅に出るのではないかと  
**問** 退職者が大幅に出るのではないかと  
**答** 退職者が大幅に出るのではないかと

**問** 医師は現在と同様の21名のままである。看護師は定年退職が2名と依願退職8名、合計10名の見込みである。ちなみに現在の各診療科別の常勤医師数は、内科4名、小児科2名、外科4名、整形外科5名、脳神経外科、耳鼻科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、麻酔科が、各1名である。



**問** 未収金の金額と対策は。

**答** 23年度までの合計が8500万円の未納がある。24年度は1000万円程度の未納になっているが、その内の1件が交通事故の關係で500万円程度の見込みである。対策としては、その日のうちあるいは翌日には対応の取れる方に連絡をとるといような対策をしている。それにより以前よりは大幅に徴収率が上がっている。また、税務課の方に債権管理室があるので、そこタイプアップをしながら移管して実際に法的措置をとっているものも結構あり成果をあげている。去年は14件そのうち20%くらいの40万円程度が回収できた。徐々に回収率をあげる対策をとっていく。

### 「指定管理者」の指定について

**問** 八幡浜市火葬場のやすらぎ聖苑について、指定期間3年が満了するためとのことだが、この管理者が雇用している八幡浜市の方は何名であるか。

**答** やすらぎ聖苑は4名で運営しており、その内2名の方が八幡浜市の方である。

### 「八幡浜市社会教育委員」について

**問** 社会教育委員は何名で男性、女性の割合はどうなっているのか。  
**答** 男性11名、女性4名の合計15名を委嘱している。

**問** 社会教育委員の出席する1年間の会議及び職務は何か。

**答** 教育委員会の諮問に応じ社会教育行政について助言することを任務とし、年3回の会議において社会教育に関する行事計画、事業評価をしている。

# 産業建設委員会報告

遠藤 素子 委員長

## 議案第88号、指定管理者の指定について

**問** 市内4か所の駐車場を指定管理者に管理させることだが、スポーツセンターを利用する場合、バスの駐車場がなくなっていること。国体もあるがスポーツセンター利用時のバス等の駐車場についてどう考えているか。

**答** 市役所または「みなと」を利用していただく。また、立体駐車場の1・2階をフジに貸すことになっているが、イベント時には協力いただけると思っている。

## 議案第89号、指定管理者の指定について

**(理事者説明)** 現在、管理を行っている「おさかな牧場シールド八幡浜」の指定管理期間が満了するため、指定管理者を指定することについて議会の議決を求めるもので、指定管理者となる団体は、「宇和海文化都市開発株式会社」、指定期間は3年間である。釣り堀事業については、廃止する方向で考えており、管理委託料についても見直し、従来の1402万5千円から大幅減額する予定である。

**問** この施設には吊り橋があり、老朽化に伴い修繕に多額の費用がかかるのではないかと。また、お客さんは減っているのではないかと。

**答** 現在のところ運営に支障はないが、海面施設は腐食が激しく、極力使用しない方向で考えており、既に掛けたしの駐車場は、

使用を中止している。ただ、この施設は須田の埋め立て地を作る際の代替え養殖漁場を確保するために作った浮消波堤などもあり、維持管理に必要な修繕は行っていく。入場者数は、若干増加している。

## 議案第93号、八幡浜市海産物直売所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 平成26年2月にオープン予定の「ドーナツや食堂」の飲食スペースは、夏場以外の気象条件に対応できるか。

**答** 食堂スペースについては、レストラン型にしたいとの案もあったが、博多の屋台風がいいとの意見の方が多数だったので、そのように決定した。また、風雨対策として、アーケード部分にカーテン状のものを設置する予定である。

## 議案第96号、平成25年度八幡浜市一般会計補正予算(第3号)について

**問** 魚協旧施設等解体費補助金について、漁協旧施設とは、どこか。

**答** 今回解体するのは、事務所横の冷凍・冷蔵施設部分で、事務所については、まだ償却が残っており、解体しても補助金返還が絡み、跡地利用する以上の持ち出しが必要になるため、当面はそのままの状態です。予定である。

請願第2号、TPP交渉からの撤退を求める請願について、請願の趣旨については十分理解できるが、「撤退」ということは実際には難しいのではないかなど種々議論した結果、趣旨採択することに決定。

## 12月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
認定第1号	平成24年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成24年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第3号	平成24年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	認定
議案第80号	権利の放棄について	原案可決
議案第81号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決
議案第82号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合の財産処分に関する協議について	原案可決
議案第83号～89号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第90号	八幡浜市都市計画マスタープランの策定について	原案可決
議案第91号	八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第92号	八幡浜市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第93号	八幡浜市海産物直売所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第94号	八幡浜市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第95号	八幡浜市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第96号～第106号	平成25年度八幡浜市一般会計補正予算(第3号)外10会計補正予算 予算額5,209万円	原案可決
請願第2号	TPP交渉からの撤退を求める請願書	趣旨採択
請願第3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	不採択
請願第4号	介護職員の処遇改善を求める請願書	不採択
請願第5号	「特例水準の解消」の名による年金削減の中止を求める請願	不採択
報告第20号～21号	専決処分の報告について(訴えの提起について)	報告
市議会推薦第1号	農業委員会委員の推薦について	推薦
委員会提出議案第3号	TPP交渉に断固反対する意見書の提出について	原案可決

12月定例会における各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。  
そのほかについては全員賛成で可決されました。

議席	氏名	議案の可否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房
議案第96号	可	×							×					×		×		
請願第2号	可	×	×		×		×											×
請願第3号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×		×
請願第4号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×		×
請願第5号	否	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×		×	×		×
委員会提出議案第3号	可	×	×		×			×			×							×

[ : 賛成 × : 反対 大山政司議長は採決に入っておりません]

議会日誌(H25.9.30~H25.12.2)

委員会活動状況

- 10月3日 民生文教委員会開催(病院事業決算審査)
- 7日 決算審査特別委員会開催(~8日)
- 9日 議会だより編集委員会開催
- 15日 産業建設委員会開催(水道事業決算審査)
- " 議会だより編集委員会開催
- 11月6日 議会改革特別委員会開催
- " 行財政問題特別委員会開催
- 19日 議会改革特別委員会開催
- " 行財政問題特別委員会開催
- 25日 議会運営委員会開催

庶務関係

- 10月4日 正副議長が平成25年度愛媛県市議会議長会秋季定期総会に出席(松山市)
- " 第24回なくせじん肺全国キャラバン愛媛県実行委員会一行が陳情のため来庁
- 9日 長野県岡谷市議会議員一行(8人)が視察研修のため来庁
- 11日 大洲市議会新正副議長が就任挨拶のため来訪
- 15日 東京都目黒区議会議員一行(7人)が視察研修のため来庁
- 16日 国民の食糧と健康を守る運動愛媛連絡会一行が陳情のため来庁
- 24日 議長が全国自治体病院正副会長・監事・相談役会議に出席(石川県金沢市)(~25日)

- 28日 議長及び関係議員が八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会に出席
- 29日 正副議長が第36回四国西南地域市議会議長懇談会定期総会に出席(西予市)
- 30日 愛媛地方労働組合連合会及び愛媛県医療労働組合連合会一行が請願のため来庁
- 30日 議長が広域行政圏市議会協議会第62回理事会に出席(東京都)(~31日)
- 31日 議長及び関係議員が南予水道企業団議会定例会及び議員協議会に出席(宇和島市)
- 11月1日 正副議長が全国自治体病院経営都市議会協議会第9回地域医療政策セミナーに出席(東京都)(~2日)
- 7日 議長が在伯愛媛県人会創立60周年記念公的訪問団に参加(ブラジル)(~13日)
- 12日 愛知県西尾市議会議員一行(8人)が視察研修のため来庁
- 15日 2013社会保障拡充県内キャラバン一行が陳情のため来庁
- 20日 議長が全国市議会議長会社会文教委員会に出席(東京都)
- 21日 議長が自治体病院全国大会2013「地域医療再生フォーラム」に出席(東京都)
- 27日 宮城県多賀城市議会議員一行(7人)が視察研修のため来庁
- 28日 八幡浜法人会が陳情のため来訪

編集後記

明けましておめでとうございませす。新人議員にとつては2度目となる12月議会が開かれました。一般質問では、6名の新人の内4名が質問に立ち緊張感漂う中でそれぞれの得意分野についての質問ができたと思ひます。昨年11月からは、新人6名による勉強会も定期的に開催しており、行政のしくみや数多くの知識を吸収したいと努力を重ねていくところです。新年を迎え、新たな気持ちで頑張りますので、本年もよろしくお願ひいたします。

議会だより編集委員会

- 委員長 遠藤素子
- 副委員長 佐々木加代子
- 委員 岩淵治樹
- 委員 平家恭治
- 委員 河野裕保
- 委員 石崎久次
- 委員 上田浩志

